

テー

現代に生きる仏

伝えよ う 生命の 尊

ほとけの心





星野英紀氏

戸田了達氏

千葉公慈氏

髙木正尊氏

回全国仏教保育福島大会において「現代に生き

去る7月30日、福島県郡山市で開催した第34

の情報もなく避難勧告・指

る仏教」をテーマに、シンポジウムが行われま した (概要は本紙9月号・№629に既報)。 「他者の喜びを自らの喜びとする人は、生き

何かを考えましょう」というテーマに込められ も私たちが生活している世界で起きている。 3人のシンポジスト (星野英紀氏、千葉公慈氏、 からこそ『いのち・生命尊重・生きる力』とは の『いのち』を軽視した虐待などの残虐な事件 ることの素晴らしさを施してくれる。逆に自他 .田了達氏)が語ってくださいました。 生命尊重」は、 高木正尊氏のコーディネートにより 言うまでもなく仏教保育の

迫ったシンポジウムを改めて考察したいと思い 大きな柱の一つです。本稿では、 て避難区域も拡大されていきま にでも飛んで行きます。やが 射能は風次第。風に乗ってどこ 待機していました。しかし、放 誰もが持ち、指示どおり屋内で のものでした。確かに発生現場 内退避」というものでした。つ に近ければ危険だという認識を 外には出るなという程度 この命題に

> かっている我々教師たちは、 ました。「情報は、あなた頼り、 ども公表されませんでした。パ ごろから危機管理における勉強 の大切さを。特に、子どもを預 ではダメ」自分で判断すること ことになりました。そして悟り たのかも知れませんが、それが ニックを防ぐという理由もあっ 務めであると思いました。 住民を塗炭の苦しみに追い込む 自分で判断するのは当然の 日

りには生かされていなかった おくべきだと痛感しました。 との交流を保つことを心がけて う時に備えて、日ごろから地域 園・保育園では「いざ!」とい な教訓を得ながらも、原発によ 壊等による仮設住宅避難の貴重 ケースもあったようです。幼稚 る避難先の仮設住宅等への気配 淡路・阪神の大地震で家屋倒

原発設置に反対を唱えました 済界では稼働大賛成で原子力発 そのものです。住民はこぞって 何よりも問題なのは「原発」 日本経済の大動脈だと、

電所が建立されました。

第34回 全国仏教保育福島大会 シンポジウムより

原発事故で調べ得た三つの今後 の課題です。 危険と紙一重の原発は不要』。 自分で。近隣との交流は密に。 るのが務めです。『状況判断は 教師です。子どもを守り・育て です。皆さんは仏教保育を司る 私たちは仏教を説く立場の者

教え お釈迦さまの「七不衰法」 の

換え『合掌の姿に、いのち、咲 ました。「合掌の姿に花は咲く」 の保育~」。この大会テーマに 花は咲く〜福島で学ぶ生命尊重 マだと思いませんか! のち、咲く」、素晴らしいテー か?「『心を寄せる』姿に "い 寄せる』と読み替えてみません く』のだと教えられた気がしま の花を、私は『いのち』と置き 重が凝縮されたテーマだと思い した。皆さん、どうでしょう? は、仏教の生命線である生命尊 合掌」というところを『心を (千葉公慈氏) 「合掌の姿に

は実に意義深いことです。 のすべての宗教の第一戒律に 「生命尊重」を謳っていること 「不殺生戒」ですから、 仏教における第一の戒律 地球上が

を奪われました。 ご当地福島でも多くの方が命 しかし、 私は

課題 危機管理における三つの

最初の指示が「3キロ以内は屋 キロ離れています。事故発生後、 よって未曽有の原発事故が起こ 知のとおり3・11の大震災に ある飯館村は原発所在地から40 りました。その最大の被災地で (星野英紀氏) 福島は、ご存 した。しかし、リアルタイムで



を吹き込む供養があります。も 供養』という仏像に、いのち、 いで執り行います。 き込めることができるという思 せんが、そこに゛いのち゛を吹 とより、仏像が歩いたり体温を できたのです。仏教では『開眼 き込むことができるのだと実感 加子さんのお話を伺っていて 持つなどということはあり得ま いうことを。゛いのち゛は、吹 『誰も死んではいないのだ』と

く存在です。その現実の中で、 は現実と理想の狭間で揺れ動 す。これらを通して今、私たち ら、そのギャップを埋めていく しを高く、時には足元を見なが をそらさず直視し、時には眼差 を伝えていくか」です。理想を と。とは言っても、私たち人間 が考えなくて、いつ考えるのか うような悲惨な現実がありま 襲いかかる風水害、テロリスト 追求していく中で、 現実から目 による無差別殺人等々、目を覆 「子どもたちに如何にして理想 ・・。 大事なことです。 東日本大震災、恒例のように

という教えです。 七つあるのをご存知ですか? この世が滅びないための教え、 「七不衰法(しちふすいほう)」 皆さん、お釈迦さまの教えで 確信しました。先ほどの大井千

部族であること。

集会をする国は、 (一つ) 人々が集まって、よく 永遠に続くだ

> 議決どおり行動すること。 (二つ) 集まって決めた会議は、

守る人々であること。 (三つ) 古いしきたりや風習を (四つ)年上(年配者)を敬う

族であること。 (五つ)子どもを大事にする部

を絶やさぬこと。 社には手を合わせて拝み、供物 (六つ)社会を守ってきた祠・

大切にすること。 (七つ)よく勉強する人たちを これらは、現代にも通じる教

訓ではないでしょうか。

る・・・、そう思います。 を直視できる。現実を直視して る。理想を知っているから現実 いるから理想を追うことが出来 大人だからこそ子どもが見え

出会った人と一緒に歩こう

関心のなかったお父さんやお母 かったなぁ」と、つくづく感じ しいチャンスを頂いたことに、 できるからです。こんな素晴ら さんに仏教の教えを直接お伝え ています。それは、仏教に興味・ をしながら保育園の園長をして いますが、「保育園があって良 つも感謝しています。 (戸田了達氏) 私は寺の住職

めの教えだと思います。だから、 仏教とは、人が幸せになるた

> ば良い。そう思っています。 幸せになりたい人は仏教を学べ

育をしておられると思います。 では、幸せについて考えられた に育って欲しい、そう願って保 のいちばんのテーマなのです。 指すのでしょうか。これが、私 める幸せってどのようなことを せとは何でしょうか。仏教が求 ことはありますか? 皆さんは、子どもたちが幸せ では、私たちが求めている幸

かった、あの人と関わりを持つ 幸なのでしょうか。幸・不幸は、 かも知れません。 たばかりにと嘆く出会いもある 断して、この人と出会って良 会った(人・物)ものの中で判 ではないでしょうか。自分が出 自分の中で勝手に決めているの も、お金はない」、その人は不 れる人もたくさんいます。「で いるでしょう。健康で長生きさ あれば幸せだと思っている人も 例えば、物やお金がたくさん

ます。皆さんは、保育園・幼稚 く人の尊さが分かるようになり それが今の自分の幸せなのでは く、たとえ苦しい道だとしても、 すら現実という道を歩いてい いのです。出会った人と、ひた ない、ともに歩いていくしかな です。そこには幸せも不幸せも と一緒に歩いていくしかないの ないか。そう思えば、ともに歩 しかし、私たちは出会った人

> と全力で向かい合って一緒に歩 園の先生という職についたので んでもらいたいなぁ、と思い す。そこで出会った子どもたち

考え方、理念、方法などで一応 という言葉があります、福祉は うことがあります。 な事象の即回答には繋がらな くる。そんな時、仏教における としては成立しないと言いま は「仏教福祉」は具体的な方法 ろです。だが、社会福祉の中で 宗教、仏教の究極を目指すとこ いってこともある。仏教にとっ の保育の中で起こってくる様々 中で問題が起きたり課題が出て 思います。様々な保育・教育の ついても言えるのではないかと す。このことは、日々の保育に て、それはちょっと気の毒に思 問題を解決します。しかし、次 (星野英紀氏)「仏教福祉

先生方が日々研鑽される中で な仏教保育だと私は思います。 育に生かしていく。それが立派 と、わざとらしくない日々の教 「そうか、仏教ってこうなんだ」 ですから、園長先生や主任の

た。それが仏教だと思ってい る道をお釈迦さまは説かれまし らをとことん見つめて幸せにな のテーマですが、生と死、ある いは人間の悩みや苦しみ、それ 「現代に生きる仏教」きょう

継がれて蘇ってきます。保育と は、その死が忘れられるが、生 度目は肉体の死です。肉体の死 間教育に捧げた生涯でした。 る修行生活を送られました。 包まれている」。お釈迦さまは つまり「保育そのものが仏教に ている」のだと思っています。 言したいと思います。 た仏教そのそのものであると提 はお釈迦様の智慧を受け継がれ きている誰かに記憶として受け は誰も避けられません。2度目 80年の生涯のうち51年間にわた (戸田了達氏) 人は2度死ぬと言います。 (千葉公慈氏) 私は「包まれ 法華経 には

われています。 あなたも仏さまですよ」と謳

あって、人間が生きていく上で はありません。元々自分の中に あって取り出せるというもので 整理したものが仏教だと思い 大切なものと思っているものを 仏教という引き出しがそばに

は、すべて仏教なのです。です ことだと子どもたちに諭すこと でもあると思っています。 から、「仏教」そのものが「保育」 したがって、私たちが大事な

で仏教・生命尊重について語っ てくださいました。 *3人3様、それぞれのお立場



妙心寺派社会事業協会

川島由里子

がどういうことなのか。

で、わが子を亡くすということ

親が良かれと自ら選んだ園

いてお話下さった。

作務、粥座(朝食)と続く一 程で開催された。坐禅、朝課、 の暑い夏の盛り、二泊三日の日 が、新しい参加者にとっては、 連の朝の行事は例年通りである 7月20日 (水) ~22日(金)

> あったと思う。 自分と向き合う厳しい時間で

教えてくれたこと」であった。 書院に場所を移し、畳に座って の講演「『死を招いた保育』が 本山妙心寺から天台宗青蓮院の リストの猪熊弘子先生。会場も 実際にあった保育中の子ども





今年の特別講座は、ジャーナ

涯続くこと。そしてそれは、親 て考え、実践することなのだと こさない保育のあり方を徹底し か(救命)ではなく、事故を起 とは、事故が起きたらどうする たちが心しなければならないこ と。一つ一つ胸に染み入り、 だけでなく保育者にも言えるこ のになること。その悲しみは生 す園を自分で選んだということ わってしまうこと。わが子を託 子どもの人生も親の人生も変 親の悲しみは二重に深いも

もって行う」ことだと言われた ことが、心に残っている。 たり前のことを並外れた愛を ない保育の根底にあるのは、「当 講演の最後に、事故を起こさ

を放し、あるがままの自分を見 捉われず、自分の物差しや分別 念は聞いただけでは把みきれな つめながら生きることが大事な い。しかし過去・現在・未来に て」をお聞きした。「空」の概 東伏見光晋師の法話「空につい 講演の後、青蓮院の執事長、

守る保育はどこにあるのかにつ もとに、子どもの「いのち」を の事故死を取材されたご経験を のだと、師のメッセージを受け

舞台の5倍の広さを持つ大舞台 殿を拝観した。青龍殿は清水寺 圧巻であった。 があり、京都市内一望の景観は 青不動で有名な東山山頂の青龍 その後、青蓮院門跡と曼荼羅

すたれて居場所を失いつつ

り、瓶や本をおしゃれに包んだ 子やリュック、エコバッグや ろしきの歴史や文化的意味に触 りと、楽しく有意義な研修で ティッシュケースカバーにした い命を吹き込みたいと精力的に れながら、実際にふろしきを帽 活動されている先生である。ふ

それに勝る深い学びを得られた 三日間であった。 夏の京都は暑くて大変だが、

私 あるふろしきを復活させ、新し の森田知都子氏のふろしき講 最後は、ふろしき研究会代表 第 65 口 天台保育全国 [暦寺大会]

岡市博多グリーンホテルを会場 8月27日 (土) ~28日 (日) 福 として開催されました。 今年の天台保育全国大会は、

小林昭寛

(言問幼稚園

報告

りました。 りますが、加盟園の皆様、及び 催ということで、 により、無事開催される事とな 被害からの復興も道半ばではあ 4 園あります。同地区での初開 九州西教区の諸大徳様のご尽力 九州の天台保育連盟加盟園は 熊本大震災の

参務社会部長角本尚雄師から、 開会式では、御来賓の天台宗

> 被害がありましたが、師より、 強い要望を下さり、様々な面で ご尽力ご高配下さいました。 今大会は是非開催をしたいとの 自坊では、熊本大震災で大きな ご挨拶頂きました。角本師の御

しました。 戸清賢師による琵琶演奏を拝聴 ついてのお話と、梶谷師及び木 谷隆幸師による「玄清琵琶」に 第一講は、玄清法流統管の梶

る玄清法流は、玄清法印を開祖 とし、一千数百年の歴史を持つ 天台宗の伝承法流の一派であ 65回 天台保育建設全関保育大会 福司大会

第65回 天台保育連盟全国保育大会 福岡大会



れているそうです。また、 成就院にて行われる琵琶法楽 で、伝統と革新の両方に触れ、 な取り組みもされているとの事 な場所での公演活動など、新た 琵琶の音色に厳粛な心地がしま 一荒神祭り」を継承しておられ 福岡県無形文化財に指定さ

ビ番組「ぶっちゃけ寺」の出演 の僧侶として、 で有名になりましたが、天台宗 を拝聴しました。団姫師はテレ 様で、太神楽曲芸師の豊来家大 まるこ)師と、団姫師のご主人 語」と講演「まるこ&大治朗の 治朗さんによる、落語 **子育てぶっちゃけ夫婦トーク_** 大台宗僧侶の露の団姫(つゆの 続いての第二講は、落語家で 落語を通じて 「仏教落

> さんの質問が出ました。 しに、聴衆も引き込まれ、 演では、お二方の人柄そのまま ます。また、大治朗さんとの講 様々な活動をしていらっしゃい 親しみやすく飾らないお話

を深めることができました。 内に、各地域の先生方との懇親 ドキしたり、和やかな雰囲気の 朗さんによる太神楽曲芸にドキ 翌日は、妙香庵を参拝しまし 夕食懇親会では、清興の大治

塔のうち、九州守護の為に建て 帰国後に発願された全国六所宝 入唐の際、航海の無事を祈願し、 庵は、宗祖伝教大師最澄様

> 触れ、改めて身の引き締まる思 られた安西宝塔があった宝満山 いがしました。 家の火」が現在護持されており、 た横大路家に贈られた、「千年 最澄様が帰国の折お世話になっ の麓にあります。そちらには、 遥かな時空を超えた求道の心に

終えることができました。 し、内容の濃い二日間の研修を その後、太宰府天満宮を参拝

た。この場を借りて厚く御礼申 教区の諸大徳様、連盟事務局の 皆様には大変お世話になりまし 九州地区の加盟園各位、 研修期間中、天台保育連盟の 九州西









幼稚園園長)より、食べ物を粗

さ』は根本一弘先生(中野小鳩

第二講、食事作法『食の大切

末にしないこと、「食」とは愛

勤続者表彰で10年及び5年勤続 きな基盤として、 多難な時代ですが仏教保育を大 た人形劇団ピッコロを主宰して も昔、この連合会に加盟し、ま 猊下よりご垂示で「私の保育園 の先生23名が表彰されました。 の言葉をいただき、続けて永年 しく思います。そして、現代は 全国の園を訪問したことを懐か 次いで安藤文隆会長より激励 幼児教育に専

真言宗豊山派保育連合会

第 61 回教職員研修大会」

事務局長 水野義昭

とめを行ないました。 下をお迎えし、全員で懺悔文か 年おきに開催しています。 所での一日研修と全国各地で行 毎年夏季に、真言宗豊山派宗務 加で行われました。本研修会は 教職員研修大会が109名の参 真言宗豊山派保育連合会第61回 ら般若心経、回向文までのおつ 育連合会名誉総裁の田代弘興猊 に真言宗豊山派管長・豊山派保 献灯・献香・献華の後、御導師 なう地方研修(一泊二日) 開会式では参加園代表による 8 月 26 日 金)、 猛暑の最中 を 1

念してください。」とお言葉を

感じさせる内容でした。後編も あり、その心を育むことこそが れのない心が幸せになる秘訣で は平等であり大切にしなければ ち場で頑張る」ことの大切さを られ、「自分の役割を自分の持 多くのほとけ様とその意味を面 教落語』と『仏教に学ぶ子育 きな参考となるものでした。 しぶりは、人と人の接し方に大 口の巧みさと心のこもったお話 子育てだと結ばれました。 ならない」を心に刻み、とらわ お釈迦さまの教え「すべての命 白く、そして、わかりやすく語 青年が亡くなってから巡り会う て』。前編は先生の新作落語で、 家・天台宗僧侶)の仏教講話『仏 し、第一講の3階会場に移動。 来賓の先生方と共に記念撮影を いただきました。 第一講は露の団姫先生(落語 閉式の言葉の後、 猊下とご



食の時間となりました。 され、合掌・食前のことばで昼 情をいただくことであると教示

内容でした。 に重要なのかを実感させられた めながら、響きあう保育がいか もの言葉と行動をしっかり見つ 楽しむ等々、子どもたちと楽し れあいあそび、リアクションを どでご活躍の先生は元気いっぱ 育士であった先生の体験を通し く体を動かすヒントが満載。保 園・保育園・子育て関連施設な 各地で親子コンサートや幼稚 あそびダンス・遊び歌』。全国 て組み立てられた講義は、子ど による保育実技『保育に役立つ そう先生(あそびダンス作家) い。「アキレスケンタウルス体 パワー」等々、ジャンプ、ふ 午後の第三講は、福田りゅう 「ポップコーン」「じしゃく

りお礼の言葉が述べられまし 年度の本山長谷寺での研修大 仏心をもって子どもたちに接 現場を大切にし、思いやる心・ してください。」の言葉と、来 証が授与され、そして、代表よ 会開催を告知し、本大会を終 た。大澤聖隆理事長の「保育の 了しました。 閉会式では参加者代表に修了

供いただき、また会場設定にご 最後に、恵まれた会場をご提

> 宗豊山派宗務所の皆様に 尽力いただきました真言 厚く感謝申し上げます。



















第6回仏教大学保育講 座

五島 満 (銀の鈴幼稚園

たり開催され、真宗十派からな され、大勢の保育者が全国から 宗本願寺派の担当によって運営 第60回を迎えた。今回は浄土真 る真宗教団連合会の主催により H 仏教保育大学講座は、 (月) ~8月4日(木) にわ 8 月 1

V 日々の保育の中で人と向き合 る。 程度の職歴の保育者の講座であ 論を学ぶためのものではなく 本講座は初年度から5年未満 自分を見つめ、自らの人生 ただ単に保育技術や方法

> 願いとしている。 に目覚めて生きることを開設の

より、 を凝らした保育者ならではの楽 しい夜のつどいも行われた。 を深めた。二日目の夜には工夫 の保育を振り返り、班別討議、 テル洛兆にて、基調講義や日々 をいただき、四日間の講座が始 "いのち"についての基調講義 全体討議を繰り返しながら研鑽 まった。その後は龍谷大学、ホ 西本願寺御影堂で開講式が行 その後、五十嵐雄道先生 ホスピス活動を通じた、







平成29年度 幼児教育関係概算要求の概要

文部科学省は過日、平成 29 年度予算概算要求・要望を財務省に提出しました。幼児教育振興における要求趣旨として、『幼児期の教育が生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることに鑑み、幼児教育無償化に向けた取り組みを段階的に進めるとともに、幼児教育の質の向上及び環境整備を促進することにより、幼児教育の振興を図る』と謳っています。

幼稚園関係では、私立高等学校等経常費助成費補助の一般補助として303億円(前年度比8億円増)を要求し、園児一人当たり単価23,523円で前年度と比して1.2%増になっています。幼児教育振興全体では475億8,300万円を計上しており、このうち就園奨励費については前年度と同額での事項要求となっています。

1) 幼児教育無償化に向けた取り組 みの段階的推進(事項要求)

· 就園奨励費 32,272 百万円(32,272 百万円)

8月に開催された「幼児教育無償化に関する関係閣僚・与党実務者連絡会議」で取りまとめられた方針を踏まえ、幼児教育無償化に向けた取り組みを「環境整備」と「財源確保」を図りながら段階的に進めることとし、その対象範囲や内容等については予算編成過程において検討するとしています。

2) 幼児教育の質の向上736 百万円(254 百万円)

◆幼児教育の質向上推進プラン

222 百万円(222 百万円)

①幼児教育の推進体制構築事業

203 百万円(203 百万円)

地域における幼児教育の質の向上を図るため、地域の 幼児教育の拠点となる幼児教育センターの設置をはじ め、幼稚園・保育所・認定こども園等を巡回して助言等 を行う「幼児教育アドバイザー」の育成や配置など、自 治体における幼児教育の推進体制の検討・整備を行う。

【委託事業→都道府県・市町村】

②幼児期の教育内容等の深化・充実調査研究 19 百万円(19 百万円)

効果的な指導方法や実効性のある学校評価など、幼児期における教育内容等について、より深化・充実するための調査研究を実施する。

【委託事業→都道府県・市町村・大学、教育研究団体等】

◆幼稚園の人材確保のための取り組みの推進 389 百万円(新規)

幼稚園に優秀な人材を確保するため、人材登録制度の 構築や離職防止をはかる研修など先導的な取り組みを支 援するとともに、事務の負担軽減を図るための ICT 化を 支援し、幼稚園教員が働きやすい環境を整備する。

①幼稚園の人材確保支援事業 108 百万円(新規) 【委託事業→地方公共団体・幼稚園関係団体】

②園務改善のためのICT化支援

281 百万円 (新規)

【補助率→国3/4 事業者1/4】

◆幼稚園教育要領の普及・啓発

116 百万円 (22 百万円)

幼稚園教育要領について、各幼稚園が適切な教育課程 を編成し実施する上での参考資料を作成するとともに、 新幼稚園教育要領の改訂の趣旨や理念等について、周知・ 徹底を図る。

3) 幼児教育の環境整備の充実 14.575 百万円 (5.637 百万円)

◆認定子ども園等への財政支援

13,072 百万円 (5,136 百万円)

認定子ども園等への施設整備・園舎の耐震化・防災対策に要する経費の一部を補助するとともに、幼稚園教諭免許と保育士資格の併有促進や研修等の実施費用を支援する.

【負担割合→ (認定こども園施設整備の場合) 国 1 / 2 市町村 1 / 4 事業者 1 / 4】

◆私立幼稚園の施設整備の充実

1,503 百万円(501 百万円)

緊急課題となっている耐震化に取り組むとともに、学校法人立幼稚園等の施設のアスベスト対策・防犯対策やエコ改修等に要する経費の一部を補助することにより、幼稚園の環境整備を図る。

【補助率→1/3 (Is 値 0.3 未満1/2)】



平成29年度 保育対策関係概算要求の概要

厚生労働省は過日、平成29年度予算の概算要求・ 要望を財務省に提出しました。待機児童の解消に向 けた整備量の拡充とともに、切れ目のない保育利用 を支援する構成が強く打ち出されています。

●「入園予約制」で育児休業の中断を解消。●「サテライト型小規模保育事業所」で3歳児の行く先確保。●「保育専門調査官」を配置し保育所保育指針の改定の周知等々です。「ニッポン一億総活躍プラン」の3本の矢の一つである「夢をつむぐ子育て支援」が掲げられており、総額では前年度比8,108億円(2.3%)増の31兆1,217億円となっています。

■ 第2の矢「夢をつむぐ子育て支援」

1) 待機児童の解消

- ◆保育の受け皿の拡大 (712 億円《うち当別会計 24 億円》)
- ●待機児童の解消に向け、「待機児童解消加速化プラン」に基づき、平成29年度末までに必要となる保育の受け皿を確保するため、保育園等の整備などのよる受け入れ児童数の拡大を図る。
- ●保育園等の設備等の際に地域住民との合意形成を 進める自治体・保育園等における「地域連携コーディネーター」の配置を支援する。

◆ 多様な保育サービスの充実(126 億円)

- 0歳児の育児休業終了後の「入園予約制」の導入を支援する。
- ●3歳児以降の継続的な保育サービス確保のため、 3歳以上の子どもの受け入れに特化した保育園等に おける3歳未満対象の「サテライト型小規模保育事 業所」の設置を支援する。
- •「放課後子ども総合プラン」に掲げる平成31年度末までに約122万人分の受け皿を確保するという整備目標の30年度末までの達成を目指す(計画の前倒し)とともに、放課後児童支援員等の人材確保対策などを推進する。

◆保育人材確保のための総合的な対策 (330 億円《うち特別会計 130 億円》)

●2%相当の処遇改善を行うとともに、保育士としての技能・経験を積んだ職員について、全産業の女

性労働者と賃金差がなくなるよう、4万円程度の追加的な処遇改善を実施する。

- ●保育士の宿舎を借り上げるための費用を支援する 「保育士宿舎借り上げ支援事業」について、その対 象要件(保育園等に採用されてから5年間)を見直 し、対象者を拡大する。
- ●人材情報サイトの開設による求人情報の提供、就職希望者向けの保育園等の見学会の開催など、新卒の人材確保や潜在保育士の再就職支援、就業継続支援の取り組みを行う市町村を積極的に支援する。
- ●保育、看護、介護の各分野における人材確保のため、 全国の主要なハローワークに設置された「福祉人事 コーナー」を拡充するとともに、関係機関との連携 強化を図るなど、就職支援の取り組みを強化する。
- ●保育事業主による「魅力ある職場づくり」のため の雇用管理改善の取り組みについて、助成金の拡充 を行う。

■ 総合的子育て支援の推進

- ◆ 妊産婦から子育で期にわたる切れ目のない支援 の実施(207億円)
- ●分娩施設が少ない地域において、新規に開設する 場合や産科等を増設する場合等の費用を支援する
- ●子育で世代包括支援センターの全国展開に向け、 その施設促進を図るとともに、地域の実情に応じて 産前・産後サポート事業、産後ケア事業を実施する。
- ◆ 児童虐待防止対策の強化・社会的養護の推進 (1,411 億円)
- ●児童相談所、市町村の体制の強化及び専門性の向上を図り、相談機能を強化する。特に、児童相談所等における弁護士等の活用の促進や、市町村における要介護児童等への支援拠点の運営支援、要保護児童対策地域協議会の機能強化を図る。また、児童相談所全国、共通ダイヤル【189】の利便性向上のための更なる改善を図る。

*この他「ひとり親家庭等の自立支援の推進、児童扶養手当や就学等に必要な資金など、効果的な支援策を打ち出しています。(2,079億円《うち特別会計59億円》)



本棚が倒れてくるetc・・・(普段から、蛍光灯や本棚、

口

時計が落ちてくる・蛍光灯が落ちてくる・窓ガラスが割れる・

●おうちの中で気を付けること

介しましょう。

)保育室の中で危険なもの

事務局日誌

9 9 13 事務局会議 「仏カリ」「仏教保育」

るように

こうした具体的な対策を普段から子どもたちに意識付けられ

ゲーム感覚で遊びながら学べる対策が満載されて

27 こどものくに「たんぽぽ版」 編集会議 編集会議

子どもの のち を守るための防災対策

9月は防災の月

ちの、いのち、を守る対策は十分でしょうか? の地域にあっても「安心・安全」な場所はないとか。 に対策を講じておられることでしょう。日本は地震大国。 応義塾大学准教授・地震学者。東京堂出版)という本が, た。どちらの幼稚園・保育所でも「いざ!」というときの備え 行きを伸ばしているそうです。その引用で恐縮だが、 今、『家族で学ぶ地震・防災はじめの一歩』 著者:大木聖子 各所で防災訓練やその対策についての講習等が行われ 子どもた 一部を紹 何処 売れ ま

最中は、絶対に手で押さえてはいけない)・キッチンには食器 カーなど、危ないものを意識しておくこと)。 ても開かないような対策を。重い家電は粘着テープなどで固定 家具は絶対に手で押さえないこと。 電子レンジなどに注意などetc・・・(食器棚の扉は揺 (棚は固定する。 揺れ 0)

あふれる歓びの声が聴きたいと願っています。

公益社団法人日本仏教保育協会 〒105-0011東京都港区芝公園4-7-4 ホームヘ ーシ http://www.buppo.com/ 電話 03(3431)7475 · FAX03(3431)1519 発行人 緑谷一雄 編集人 五島 満 毎月1回1日発行(1部315円)



仏教保育綱領

慈心不殺 生命尊重の保育を行なおう 仏道成就 正しきを見て絶えず進む保育

を行なおう よき社会人をつくる保育を 正業精進

行なおう

そして未就学でも幼・保で保育・教育が受けられる時代へと ちの夢・希望を壊さないでと、心から願います■明治の初め 造物をはじめ、費用等で議論が交わされています。子どもた 与えてくれる。加えて、その国の歴史に残る国家的なイベン クがもたらす経済効果もさることながら、子どもに夢や希望 作用)の仕組みの発見とか。難しいことは分かりませんが、 誉教授に贈られました。受賞理由は「オートファジー それから一世紀余が過ぎ、教育レベルの高い国になりました。 すべての子どもに等しく教育を受けさせる方針を定めました。 に義務教育が国民に課され、国は親の貧富や職業に関わらず トとして国民は喜びに沸いたものでした。その開催に伴う建 五輪の開催が東京に決まりました。二度目の東京オリンピッ 者として誇らしい思いに尽きます■3年ほど前、 ベル賞受賞は昨年に続いて25人目だそうで、 病気治療の開発への道に繋がるのだと言います。日本のノー ■今年のノーベル医学生理学賞が東京工業大学の大隅良典栄 ってきました。今、待機児童問題が姦しく吹き荒れています。 編 青空の下、 後 すべての子どもたちが活気に 同胞に身を置く

おたんじょう(12場面) 〇四つの門 (13場面)○おさと り(16場面) ○ねはん

セット定価 本体¥20,000(8%税込¥21,600)※分売不可

脚本・絵/諸橋精光 画面38.2×26.5cm 豪華化粧箱入り

現場や布教活動の場で幅広くご活用いただけるよう、 おしゃか さまのご生涯を4巻に分け、 幼い子でも集中力を保てる適度な場面 数で仕立てました





第32回夏季



ご注文 お問い合わせ すずき出版

鈴木出版株式会社 〒113-0021 東京都文京区本駒込6-4-21 2503-3945-6612 (保育営業部) FAX03-3945-6616 http://www.suzuki-syuppan.co.jp/